

An illustration of a female student with long brown hair and purple eyes, wearing a grey V-neck sweater over a white collared shirt and a black pleated skirt. She is standing in a library with tall wooden bookshelves filled with books. The background is a warm yellow-orange color with stylized light patterns.

津山高専

第40号

図書館報

もくじ

- 校長先生からの言葉
先生お勧めの本
- 校内読書感想文コンクール
- 学生の詩・短歌・俳句
- 特集記事

校長先生からの言葉

「津山高専生の皆さん、読書力をあげて、実践・応用力のある真の技術者を目指そう」

校長 稲葉英男

私は、学術研究の成果である投稿論文の査読者としての長い経験から、表現力の豊かな論文は人に感銘を与えるもので、その背景には著者の読書力が非常に高いことが裏付けとしてあります。皆さんは読書に関して、どのような効果・効用があると思われますか？一般に、読書の効果については、語彙が増える・知識が増える・知性に広がりができる・物事を多面的にみることができる・判断材料が増える・想像力が鍛えられる・人生に潤いができるなどがあげられます。さらに、読書はストレス解消には、音楽・散歩・テレビゲームなどより効果的であるとの報告があります。

皆さん、読書活動に関して我が国に法律があることを知っていますか？2001年12月に「子供の読書活動の推進に関する法律」が制定されています。その基本理念として読書を「子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことが出来ないもの」と定義しています。生きる力とは、「自ら考え、判断し、表現し、行動して解決することができる資質や能力」であるとしています。また、読書に求められるものは、「人間にとって最も基礎的な活動の一つであり、生涯にわたる学習活動の基盤となるもの」です。読書の種類としては、思索のための読書と情報を得るための読書に分類されます。脳科学と読書の関係では、左脳は「言語脳」と呼ばれ、読む・書く・話す・聞くといった言葉に関する機能や分析力等を司っており、右脳は芸術的な分野を担っており、顔や物の形を認識するパターン認識、直感力や想像力等を受け持っていると言われています。

将来技術者を目指す学生諸君は、読書で多くの知識や技術などを左脳にインプットして、新たなひらめきや問題を解決する糸口を右脳で見出し、アウトプットする能力を身につけて下さい。

先生お勧めの本

新任 専門共通科目 渡利正弘

「放浪の天才数学者エルディシュ」

著者：ポール・ホフマン 訳：平石律子 出版：草思社

この本は、一人の数学者についての本です。彼の名はポール・エルディシュ。83歳で亡くなるまでに1475本の論文を書き、1日19時間、数学を解き続けたという伝説の人物です。彼は家族や家を持たず、お金や財産などの所有を一切放棄しました。出世の欲もありません。彼の望みは、ひたすらに数学の問題を解くことでした。

彼は類い希なる数学の天才でしたがそれ以外のことはまるっきりだめで、数々の常識外れのエピソードを残しています。そんな彼を見守る周りの人々の優しさと、エルディシュの純粋で真摯な生き方に心を打たれます。

読み出すと引き込まれてアッという間に読んでしまいます。数学の話題をかなり詳しく紹介していますが、わかりやすく書いてあり、数学の面白さが生き生きと伝わってきます。個人的に同じ数学を志す者として、せめてエルディシュの100分の1でも頑張らねば・・・と思わずにはられません。

新任 機械工学科 山口大造

「実験計画法 方法編 一基盤的方法から応答曲面法、タグチメソッド、最適計画まで」

著者：山田秀 出版：日科技連出版社

実験をいかに効率的に行うべきか。実験計画の仕方と解析方法までセットで学べます。一般的な実験計画法を基本として、応答曲面法、タグチメソッド、最適計画という4つの方法が取り上げられています。

「東のエデン」

著者：神山健治 出版：株式会社メディアファクトリー

まるで現実世界とリンクしてストーリーが進んでいるかのよう…。100億円の電子マネーがチャージされた何でも願いのかなう携帯を与えられた12人のセレソンが、日本を新しい方向へ導く任務を課せられる。「ノブレスオブリージュ」。この物語から、今の自分の任務（責任）を見出して。

機械工学科 井上浩行

「演習で学ぶ現代制御理論」

著者：森泰親 出版：森北出版

この本は、現代制御理論を理解するための演習を主とした本です。現代制御理論の教科書の多くは、いくつかの例題が掲載されていますが、解き方が詳しく説明されているものは少なく、いざ演習問題を解こうとしても、手順や行列計算が分からず、あきらめてしまうといったことも多いのではないのでしょうか。この本は、例題や章末問題の解答ならびに解説が非常に丁寧でわかりやすく記述されているので、実際に問題を解きながら現代制御理論を理解するのに有用です。図書館にも入っているので、まずは手にとって見てはいかがでしょうか。現代制御理論を理解するきっかけを与えてくれると思います。ただ、数学的な証明が省略されている部分も多いので、さらに勉強したい人は他の参考書と併用することを勧めます。

情報工学科 藤田一寿

「なぜ、あなたはJavaでオブジェクト指向開発ができないのか—Javaの壁を克服する実践トレーニング」

著者：小森裕介 出版：技術評論社

今日のプログラミングでは、オブジェクト指向が欠かせない。それは、機能を再利用するため、コードのメンテナンス性をあげるため、作業を分担するためなどプログラミングの効率をあげるためにそれが有効であるからである。ここで紹介する本書は、そのオブジェクト指向をこれから学ぼうという初心者に向けて書かれたものである。本書では、まず簡単なじゃんけんプログラムをオブジェクト指向を用いず作成し、それをオブジェクト指向を用いて作成しなおす。さらに、それに機能を追加していく。この作業を通し、オブジェクト指向の必要性和その用い方を学習していく。C++やJavaなどの言語を使っているがオブジェクト指向でプログラミングを行っていない学生諸君は本書でそれを学び、オブジェクト指向プログラミングの技術を身につけてほしい。

電子制御工学科 細谷和範

「物理数学の直感的方法」

著者：長沼一郎 出版：通商産業研究社

専門科目を勉強していく中で、様々な数学的な表現に閉口する学生も少なくないのではないのでしょうか。小職もそのうちの一人で、学生時代は流体力学や熱力学など。現象を偏微分方程式で説明する科目じゃ苦手で、ちっとも勉強しませんでした。（そんな人が今、学生を教える立場になっているのですから人生は不思議です）。そんな中で救いとなったのがこの本です。著者は難解な数学的概念をどう簡略化できるかと題し、我々が容易に理解できない身近な例を引き合いに出し、直感的な理解を促しています。例えば、工学の世界で当たり前のように用いるフーリエ変換や複素数がなぜ必要なのか、いったい何をしようとしているのかがわからない学生は手に取ってみては如何でしょうか。難解な定理の解釈をざっくりと行う本書の評価は様々なと思いますが、副読本の一つとして非常に面白いと思います。

電気電子工学科 伊藤國雄

「半導体・光デバイスに関する参考書」

現在の高度情報通信社会を構成している基本能動素子は、半導体デバイスと光デバイスであります。これらに関する基礎的な知識は、今後の工学技術者にとっては必須です。これらデバイスに関し高校生程度の知識で読める入門参考書として、電気電子工学科の教員が中心となって書いた「これからスタート！電気電子材料」「これからスタート！光エレクトロニクス」「半導体レーザーの基礎マスター」の3冊をお薦めします。すべて電気書院から発売されています。また基礎的な知識を若干お持ちの方には、電子情報通信学会から発売されている「情報通信の新時代を拓く高周波・光半導体デバイス」をお薦めします。いずれも本学図書館にあるので、参考書として活用してください。

一般数学 松田 修

「トポロジカル宇宙 完全版 —ポアンカレ予想解決への道—」

著者：根上生也 出版：日本評論社

2006年8月、スペインのマドリードで行われた第25回国際数学会議のフィールズ賞の発表で、ポアンカレ予想を証明したロシアのグレゴリー・ペレルマンという数学者の名前が呼ばれました。しかし、その後、彼は辞退したというアナウンスが流れ、会場がざわさわとなったことを、その場にいた私も覚えています。実は、この予想は百万ドルの懸賞金が掛っており、それも辞退しています。根上さんのこの本はポアンカレ予想を解説したものではなく、ポアンカレ予想と現代の幾何学の面白さを伝えた読み物です。数式も数学用語もあまり使わず根上流の言葉で宇宙の形を想像させます。根上さんは5年前に「数学探偵セイヤ」としてテレビで活躍していた偉大な教授で、松田研究室には根上さんに書いてもらった直筆サイン本があります。

一般国語 江原由美子

「国語便覧」

国語関連の参考書は数え切れないくらいありますが、究極の一冊を挙げるなら、「国語便覧」（津山高専では3年次に購入、3・4年次で使用）です。日本語・日本文学に関する様々な事柄が掲載されており、授業ばかりではなく、就職活動や進学・編入学時の勉強、そして卒業後にも使える一冊です。

かくいう私は、高校時代、「国語便覧」は学校のロッカーに置きっぱなしで、ほとんど使った記憶がありません。でも、大学入学で実家を離れる際、他の参考書はほとんど処分したにも関わらず、「国語便覧」だけは下宿先に持って行きました。今もその一冊は、自分の本棚にならんでいます。

学生時代には単なる重い本でも、歳を経ると、意味ある重い本になることがあります。ぜひ大事に使ってください。

専門共通科目 佐々井祐二

「力学Ⅰ—質点・剛体の力学—」

著者：原島鮮 出版：裳華房

高学年向けに力学の定番を紹介します。本書は新刊ではなく1973年に第1版が発刊されましたが、脈々と発刊が続いている名著です。内容は副題のとおり、質点と剛体に関する力学で、ベクトルや微分積分などある程度の数学力は必要ですが、非常に読み易く書かれています。計算しながら読み進めていけば、力学の基礎が身に付くでしょう。また、本書の続編として「力学Ⅱ—解析力学—」もあり、これには力学の美しさを感じるグランジュの運動方程式に続き、対称性と不変量、前期量子論の記述があります。なお、この2冊を合わせ簡潔にした内容の「力学」もあります。力学の基礎や数学的手法を獲得するため、本書を読破するのはいかがでしょう？

一般英語 中岡尚美

「COCET 3300 —理工系学生の ための必修英単語3300—」

出版：成美堂

これは全国高専英語教育学会 The Council of College English Teachers に属する先生方の有志が編集されたもので、理工系の大学・高専で学ぶ学生にとって必要な英単語及びその例文、解説が掲載されています。そのはしがきには、『将来科学者やエンジニアになろうとする学生諸君が、受験のための勉強ではない、本当の意味での「実用英語」を習得するための基礎作りのために』とあります。専門の英語論文、英語参考書文献を読む基礎として、身近に置いて繰り返し利用してください。「継続は力なり」です。単語が読まれたCDも付いています。残念なのは例文の音声がないことですが。

また、この本は、インターネット上の学習サイト「理工系学生のための必須英単語COCET3300」にも対応しています。そのサイトを利用すれば、単語を「見る・聴く」「確認する」「テストする」機能を使って一層効果的に勉強することができます。

図書委員会活動報告

読書会

毎年の恒例行事となっている読書会。にもかかわらず今年の7月に行われた読書会には全く人が集まらず、飛び入りで参加してくれた1名以外は図書委員だけ、という状態で行うことになりました。各自が好きな本について原稿を作り、問題などを交えて発表しました。いろいろなジャンルの本が紹介され、先生お勧めの本も教えていただきました。今まで知らなかった本に出会う良いチャンスだと思うので、来年はぜひ大勢の方に参加してもらえたらと思います。

ブックハンティング

図書館に新しい本を入れるべく、今年も図書委員たちが集まりブックハンティングを行いました。去年は何度かに分けて行いましたが、今年はこの一回だけだったためか、リストアップする本の量もとても多く大変でした。ブックハンティングに初めて参加する人が多く、どの本をリストアップしていいかと悩みながらも、皆さんに興味を持ってもらえるような本を数多く揃えました。ぜひ図書館に来てもらいたいと思います。



古本市

今年も図書委員会の古本市にお越しいただきありがとうございました。今回はDVDの販売も行い、沢山のお客様にお越しただけました。この売り上げは、図書館の蔵書を増やすために、大切にに使わせていただきました。本当にありがとうございました。



△ 図書委員会メンバー

校内読書感想文コンクール

1 位 ナイフを読んで

1 年 4 組 生駒 将太

いつ頃からだろう。夕食時にテレビをつけると洒落た色合いのスーツを着た女子アナが、
「また、子供の自殺です。」
と告げている。

自殺でなければ、親、友達、通りすがりの人を刺した、リンチにかけた、そんなニュースが当たり前のように毎日の食卓に届けられるようになって久しい。

しかし、いじめが大きな社会問題としてマスコミに取り上げられたのは、もう何年も前のことだ。

こうしていつの間にかいじめは私たちの社会において、日常的な光景と化しているのだ。

実際に中学生の頃、私のまわりにもいじめは存在していた。子供たちは教室の中で、塾の廊下で、今一番ハマっているゲームのように、いじめに熱中して、飽くことを知らない。そんな日常を舞台にして巻き起こる不条理を、別な場所で起きている非日常的シチュエーションを描写している。

ある日、「私」(父)の中学生の息子の真司がひどい、いじめにあっていることが明らかになる。

真司は彼の父親と同じく極端に小柄な少年で、そのことがいじめの材料にもされている。けれど、真司は自分がいじめられていることを決して親に言おうとしない。一人で苦しんでいる。そしてそんな子どもの苦しむ様子を見続けるのに耐えれず、母親は取り乱して泣く。だが父親は母親の訴えにもかかわらず自分から行動することができない。

その父親自身も実は職場で部下たちからうっとおしいと思われている存在である。部下との宴席の帰り道、自ら状況を打開することの出来ない、臆病な「私」は小さなナイフを買う。そしてそのナイフをいつも持ち歩き、ついには息子をいじめる少年たちに挑みかかろうとするが失敗に終わる。

この物語は二人の男が、それぞれ別な場所で、別なやり方で闘っている。真司はいじめる少年たちと闘っている。そして父親である「私」は、家族と、自分自身のプライドとを守るために、ナイフを懷に忍ばせて、自分の弱さと闘っているのだ。

場所が違って、相手が違って、それが自分の持てる力をすべて出し切らねばならないぎりぎりの闘いである点では、同じである。

このように著者は子供のいじめをテーマにした小説を書きながら、そこに大人をしっかりと関わらせ、浮かび上がらせているのが面白い点だ。子供の苦しみと大人の苦しみを合わせ鏡のように置いた情景は深く考えさせられた。

いじめが日常化されても、その標的となった子供の苦しみは軽減されることは絶対にはないのだ。ゲームの参加者は貪欲だ。おまけにその周囲にはもっともっとスリリングな展開が見たいとあおりたてる観客がいる。いじめが日常化された今、私達はいじめについて深く考えるべきではないだろうか。

2 位 人間失格を読んで

1 年 4 組 寺尾 奈々

大庭葉蔵は幼い時から“人間の営み”が分らなかった。周りには恵まれていたという理屈ではなく、精神的に空腹を感じる事がなかった。また、人は何をするために生きているのか、そんなことを考え、自分で

は全く理解することができず不安に襲われる。人を恐れ、しかし人間と繋がろうと道化をして自分を偽り、周りを笑わせていた。

幼くして周りに気を使いながら生きている葉蔵は、

生きている心地を感じたんだろうか、資産家の息子だと、さらに周りからの重圧も大きいだろう。人の怒りを見ては恐れ、人から尊敬されてはまた恐れ、人への魅力がまったくなかったのだと思う。

私は日々人並に平凡に生きて、日常在ることに一喜一憂している。空腹を感じ、意識して人と繋がりを持つとすることはない。葉蔵が汲み取ることでできない“人間の営み”を十分に、誠実に、自然に実行している。

ただ後に会った堀木正雄から酒、煙草、淫売婦を思い知らされた葉蔵。ただ遊ぶだけだ、と軽蔑していたが、教わったそれらは葉蔵が根強く持っている“人間恐怖”を一時的に紛らわせる唯一の手段。その手段はがま口を銅銭3枚にさせ、凄惨の思いに襲われ、奇妙な屈辱を感じた葉蔵は、心中を図った。

葉蔵がもつ“人間恐怖”はここまで人を陥れるのか、と淋しい気持ちになった。ただ、金銭がなくなったために心中を図ったのは、かつてのお金持ちの坊ちゃん概念から脱していなかった葉蔵の現実逃避が原因だと思われる。例え“人間恐怖”を感じていても、今の自分の猥らな行為を現実として向き合うべきだったのだ。

そんな葉蔵一人だけが生き残ってしまった。生家と義絶し、日々酒に溺れるも、ヨシ子という大切な妻ができた。しかしヨシ子が純粹で警戒、疑いを知らぬが故に、葉蔵は例の“人間恐怖”にのたうち回り、不安を掻き消すために赴いた酒は葉蔵の体を蝕み、咯血を起こす。薬屋に行った際、酒はおやめと、薬とモルヒ

ネをもらった。酒の代償としてモルヒネを使い、使う量も日々増量し、そして地獄を見た葉蔵は病棟にて鏈を下ろされた。もはや、人ではなく“人間失格”になったのである。

こんなにも儚く散っていった人間は他にいるだろうか。たった一人との交友だけで、酒や煙草や淫売婦を知っただけで、廃人にまで暴落してしまったではないか。葉蔵は美しすぎた。容姿美貌、女たちから惚れられるのは仕方がなかったのだろう。もしかしたら、一回目に行われたツネ子との心中で死んでしまった方が、周りのためにも、ツネ子のためにも葉蔵のためにも良かったのではないか。モルヒネの作用は、判断も抵抗も忘れさせる。狂人、“人間失格”の廃人になるくらいなら、“人間恐怖”から逃れるために現実逃避をした方が何倍も仕合せではないか。

本を通して葉蔵を見てみると、彼に似ているところがある。私が一番つらかったのは、自分を特別な存在として想ってくれる人が現れたときだ。恋愛という行為は私には程遠く無縁のものであった。そんな私に時間と愛情を捧げてくれる彼を考えると、自分への罪悪感しかなくなり、胸が苦しくなるばかりだった。葉蔵と同じく、できるだけ他人の生涯に関わらないよう、ひっそりと身を潜めたかった。

しかし幸福も不幸も感じないほど、自分を見失ってはいけない。“人間失格”の廃人は、もはや人ではない程の扱いで、惨めで愚かこの上ないのだ。

3 位 図書館戦争を読んで 1 年 4 組 本郷 滉行

作者があとがきで月9連ドラをコンセプトに書き始めたと言った本作品では、メインとなるはずの恋愛要素よりも、行政と戦闘が前に押し出されていて、少年漫画を読んでいる時のような興奮を味わえた。笠原郁と堂上篤教官のお互いが相手への特別な感情に気づけていない恋愛事情も読んでいて楽しかったがその他にも心に残る場面が多くあった。

笠原が図書館を護衛する図書隊員になる前の過去の話で、幼い頃から読書が好きだったが、アクティブな子供は本を読むのが嫌いだという固定概念が周囲で根強く、「似合わない」などと言われ、傷ついていた。

心の傷が響き、読書をしない時期があった程でした。私は周囲の心ない言葉が許せないと思った。結果として笠原は読書を楽しむことができるようになったが、周囲の言葉や行動によって自分が好きだったこと、好きになるはずだったことができなくなってしまった人は現実にもいると思う。僕は体育や集団行動が好きじゃない。最初から嫌いだったわけじゃないし、その集団にもよると思う。小学校時代や中学校時代の周囲の低俗な言動が嫌いになった原因だ。運動が嫌いなのではない。体育で浴びせられる言葉が嫌いなのだ。ミスをしたり、目立って役に立つようなプレーをしなければ

怒られたり馬鹿にされることがあった。もしかしたら冗談だったのかもしれない。それでも嫌な気持ちにさせられたことで、好きになれたかもしれないことでも嫌いになってしまう。現に、私はスキーなら好きだ。個人スポーツだし、周囲にクラスメイトなどいるはずない。周りを気にせず思い切り楽しめる。そんな人の楽しみを傷つけるような、奪うような言動を私は許したくない。

笠原が高校3年生の時、メディア良化委員会によって大好きな本が奪われようとしたとき、ある図書隊員が助けてくれた。その時笠原は思った。「正義の味方だ」と。それから笠原は正義の味方を目指して図書隊員を志すようになるのだが、尊敬できる人がいるということは、とても力になることだと思った。笠原の場合、なりたと思った夢に向かって数々の過剰な努力をし、実らせている。物語は図書隊に就職してから更に困難に立ち向かう笠原を描いていることから、夢は実ってからがはじまりなんだと思わされた。私は音楽を聴くことが好きだ。パソコンをしながらプロの曲から趣味でやっている人の曲まで、自分の気に入ったものを聴いている。趣味で歌ったり、作曲したりしている人の中にはプロにも負けぬ実力を持っている人が

たくさんいる。私がそんな人たちの音楽を聴くのは単純にその曲が好きだというのが理由だけれど、その好きの中には「尊敬」「憧れ」が含まれている。私だけでなく、他の人もそうなんじゃないだろうか。音楽を好む人はその曲の歌詞や音に励まされたり、楽しい気持ちになったりして、力を得ていると思う。笠原は正義の味方に憧れる気持ちを力に換えて夢をかなえた。尊敬するってことは同時に自分に力を与えるということだと私は思う。

「どうして大人たちはただ本を面白がるということを許してくれないのか。」この言葉に私は引きつけられた。強く共感したからだと思う。別に私の親は私の読む本を規制したりすることはないし、私自身が許されなかったことはない。ただ世間に対して思う。事件が報道されると、それをゲームや本などのせいだと騒ぐ。そんなデータがあるのか、大人は思い込んでるだけじゃないのか、「面白がるのが許されない。」には推奨も含まれる。本好きの子は成績がいいからとか、あれこれ理由をつけて読書を押しつける。そんなことしなくても私達は読みたい本を自分で選べるのに。図書館戦争など起こらず、人が自由に読書を楽しめる世の中が続いてほしい。

学生の詩・短歌・俳句

無題

(晴居彗星賞)

一年一組 佐藤

葵

この世界でたった一人で微笑んでいた

歩き出して少し泣いたけど

S極とN極のように

たくさんの磁石とくっついた

お互いの冷たい体にひやっとしたけど

くっついたことで強くなれたから

誰かの存在を知ってしまったから

離れられないんだ、きっと

あたしの体に電流が流れた



雨漏り（もこもこ賞）

一年二組 末田 卓巳

朝起きた

机に向かう

その机の上に

水たまりを、見た

その広い広い

池の上には

ノートパソコン

という島が

マウスという島が

ぼつんぼつんと

浮かんでいた

どうやら寝ている間に

洪水が起こったようだ

上を見る

それはすぐにわかった

コーヒーを

こぼしたようなしみ

「水が、したたっている」

パソコンを持ち上げ

マウスを持ち上げ

びしょびしょに濡れた

それらを

ただ夢中にふいた

机の上の池もふいた

パソコンのふたをはずす

マウスの ねじを はずす

パソコンは床下浸水で

すんだようだ

マウスは・・・床上浸水だ

パソコンのマウスの

スイッチを入れる

見えた

「起動しています」の文字

光った赤いランプ

胸をなでおろしたぼくは

そのパソコンとマウスで

ひとつの詩を書き始める

日本一短い手紙―「涙」

《天国の先生へ》

あの時は泣いてばかりで言えなんなんよ。

先生、ホンマにありがとうございました。

《自分へ》

何でそんなに泣くん？辛くて苦しかったりするなら、

もっと色んな人に頼ってええんで。

《友へ》

試合に負けたからって泣くな。勝つことが全てじゃない。

「頑張った」それだけでいいんだ。

《AKB48へ》

ベッドの右の壁にいつも君はいるのに、

水着の恋人は切ないほど手が届かない。

短歌

空の星 眺めていつも つぶやくは ああなつかしい あの人の名前

向日葵の 咲くこの街に 背を向けて 新たな景色 探しにゆかん M・2 宇治 直紀

将来の 事を心配 していても 結局今を 楽しむだけだ E・2 中務 航輔

ありふれた 海も花火も 無い夏の 蚊取りの匂い 畳に染みて S・2 坂田 真也

ありふれた 海も花火も 無い夏の 蚊取りの匂い 畳に染みて C・2 神浦 誠

映画の原作小説紹介

「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」

著者：リリーフランキー

この小説は、リリーフランキーの実体験を基にした長編小説。複雑な家庭環境の男の子が、東京に出てきて貧乏ながら何とか生活し、母も一緒に住むようになるが、病気にかかってしまい,, という作品。

「博士の愛した数式」

著者：小川 洋子

交通事故による脳の損傷で記憶が80分しか持続しなくなってしまった元数学者「博士」と博士の新しい家政婦である「私」とその息子「ルート」の心のふれあいを美しい数式と共に描いた作品。

「嫌われ松子の一生」

著者：山田 宗樹

教え子をかばった事から教師の職をクビになり、家族とのいざこざから家を飛び出し、その後は男とのトラブルや裏切りから、やがて風俗嬢に転身。更に悪い男に騙され男を殺して刑務所へ行き,, という作品。

「佐賀のがばいばあちゃん」

著者：島田 洋七

戦後の広島に、母親に女手ひとつに育てられていた昭弘（島田洋七の本名）少年は、働く母を恋しがって、物騒な夜の盛り場にやってくる。懸念した母親がだますようにして佐賀の昭弘の祖母・おさのばあちゃん（本名は徳長サノ）の家に送るところから始まる。がばいばあちゃんと昭弘の8年間を綴った作品。

意外に知らない(?)新着図書紹介！

知っているようで意外と知らない、図書館の新着図書の紹介です！

今回はH22年4月から、H22年10月までに入ってきた新着図書の中から、いくつかピックアップして紹介したいと思います。

0 類 総記

Flash 3Dコンテンツ制作のためのPapervision3D入門 / 池田泰延著

(請求記号：007.642/I)

3 類 社会科学

マネジメント：基本と原則 / P.F. ドラッカー著；上田惇生編訳

(請求記号：336/D)

4 類 自然科学

単位が取れる電磁気学ノート / 橋元淳一郎著

(請求記号：427/H)

5 類 技術

WEBレイアウトのネタ帖：差がつくプロの技、まとめてお教えします！

(請求記号：547.4833/W)

9 類 文学

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海著

(請求記号：913.6/I)

(平成22年10月現在)

電子書籍について

電子書籍（でんししょせき）とは、古くより存在する紙とインクを利用した印刷物ではなく、電子機器のディスプレイで読むことができる出版物である（出典Wikipedia）

電子書籍という考え自体はそう新しいものではない。しかし近年iPadのようなタブレット端末やKindleのような電子ブックリーダーが登場したことにより、徐々に市民権を得ようとしている。

こういった電子書籍の利点とはこういったものがあるのだろうか。まずネットが使える環境であれば、本を探すために本屋へ行ったりする必要もなく、その場で購入しその場ですぐ読めるということである。また、電子媒体なので保存する場所をとらない。大量の本に埋め尽くされた部屋で頭を抱える必要もなく、いつも重い参考書を持ち歩く必要もなく、常に大量の書籍をコンパクトに持ち歩くことが可能である。しかし、そういった利点ばかりといったわけでもない。電子書籍は基本的に、端末によってそれぞれ専用のマーケットが用意されているが、A社の端末で買えた書籍がB社の端末では買えない、せっかく買った本を別の端末に持っていくことができない、はたまたA社のマーケットでは「日本の漫画は子供たちが戦う描写」があるので販売できない等、流通や互換性はたまた表現規制に出版社の権利関係まで問題は様々である。また、本を電子媒体にするということは海賊品の流通がしやすくなるという欠点も考えなければならない。

そういった様々な問題を解決できたとき、本当に電子書籍が普及する世界がやってくるのかもしれない。

資格参考書

高専の図書館では、学生が色々な資格取得に打ち込める様に参考書が数多く並べられています。身近な資格として、高専でも受験することが可能な漢字検定や数学検定はもちろんのこと、専門科目である電気主任技術者やデジタル技術、情報処理技術などといった資格の参考書があり、自分の持っている学生証があれば無料で借りることが可能なので自主学習に便利です。

また高専は、資格関連科目（検定試験により認定されたもの）を学年始めに履修願して、見事その検定に受ければ、それ相応の単位を獲得することができます。

学校の試験だけでなく、積極的に資格を取得していけば、他の人より多く知識を得られると同時に、もし単位が危なくなった時の助けとなるので、資格は学生で勉強に打ち込める今の間にできるだけ取っておきましょう。

資格を取得することは困難ですが、頑張って取得すれば就職、進学に有利であり、また自分の為にもなるので、ぜひ図書館を活用して資格を取りましょう！

速 読

《速読の種類》

まず、速読といっても種類があり、それは大きく分けて以下の3つに分類されます。

1. 目を速く動かすもの
2. フォトリディングと呼ばれるもの
3. 読む前に得たい情報や目的を研ぎ澄ますもの

以下に2や3の項目の速読について書かれたお勧め本を一冊紹介し、1についてはトレーニング方法の書かれた本一冊とトレーニング方法を一つ紹介します。

＜王様の速読術＞（著者：斉藤英治 出版：ダイヤモンド社）

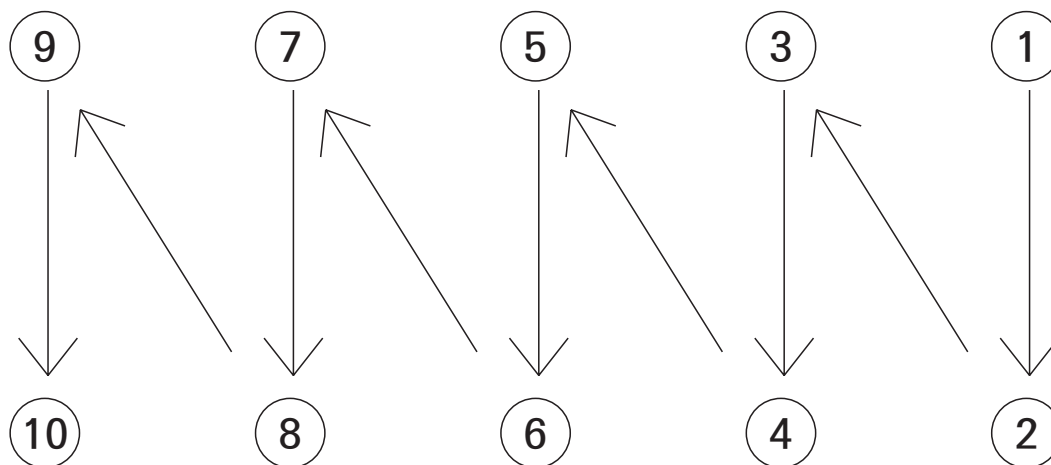
大まかにこの本の特徴を書くと、内容を味わうのではなく、得たい情報のみを読み取るタイプの速読術を紹介している本です。これは、大量の情報をさばかねばならない時に向いています。また、この本には試験に備えての方法、仕事に活かすための方法等を目的別に書いてあるので学生の方々は是非一度読んでみてください。

＜即効マスターらくらく速読ナビ＞（著者：松田真澄 出版：日本実業出版社）

この本の特徴は、目と脳をバランスよく鍛えるこのトレーニング方法紹介しているところです。この本の手法をマスターすれば読書スピードが上がるだけでなく集中力・理解力・記憶力がすべてアップします。是非一度試してみてください。

* トレーニング法（視野拡大）

以下のトレーニング方法は、眼力を鍛えて視野を拡大する手法です。1～10の番号を順に見ていき、これを繰り返すことで眼力を鍛える方法です。



* オススメ多読用教材紹介 *

皆さんは「多読」という言葉をご存知ですか？ 読んで字のごとく「たくさん読むこと」を意味しますが、主に英語の学習において使われる言葉です。多読用の本にはレベルが示されており、自分の今のレベルが分かるようになっています。ただ読むのではなく、今より少し易しいくらいのレベルから始めて、徐々に難易度を上げていきます。すらすら読めるレベルでいいから、とにかくたくさん英文に触れることが大事なのです。これはTOEICの長文問題を早く解く練習にも繋がりますし、もちろん語彙力もアップします。

「多読」において最も重要なのは、辞書を引かないことです。幼児向けの絵本のようなごく簡単なレベルの本でも、分からない単語が出てくることがあります。しかし当たり前のように辞書を引くのではなく、イラストや状況から意味を推測するよう意識するのです。辞書に頼りきりで自分の頭で考えないと、せっかく意味を調べたところで頭には残りません。まず考えてみる習慣をつければ、いずれは英字新聞もラクラク読めるようになる、かも？

多読の本は英語科の先生たちが選んで図書館に入れています。出版社がそれぞれシリーズで出しており、その中からいくつか読んでみた感想をあげていきます。

CLASSIC TALES Series — Oxford University Press

Oxfordから出ているこのシリーズは、レベルがかなり低く設定してあり字も大きく、すぐに読破できてしまいます。生き物の名前とか、ごく偶に知らない単語に遭遇しますが、最初に分からなくても後で読み返すと意味が分かってきます。個人的には絵が怖くて読むのが苦しかったです。

PENGUIN READERS Series — Pearson Education

Longman英英辞書と同じ出版社です。図書館にはこのシリーズが最も多く並んでいます。レベルはEasystarts (200 words) から 6 Advanced (3000 words) まで全部で7つに分かれており、さらにBritish EnglishとAmerican Englishなんかに分類されています。これは絵本ではなく、文庫本くらいの小さなサイズに文字がギッシリ。絵は何ページかに一つ白黒で印刷されています。私が読んだのは2 Elementary (600 words) でしたがかなり文章が長く、読了後はかなり達成感がありました。とはいえ内容で詰まるところはまずないので、英語の勉強がしたい！ でも本が読みたい！ という人にオススメ。

有名な話がたくさんあり、“BABE” や “ALICE IN WONDERLAND”、“MEN IN BLACK” などなど。

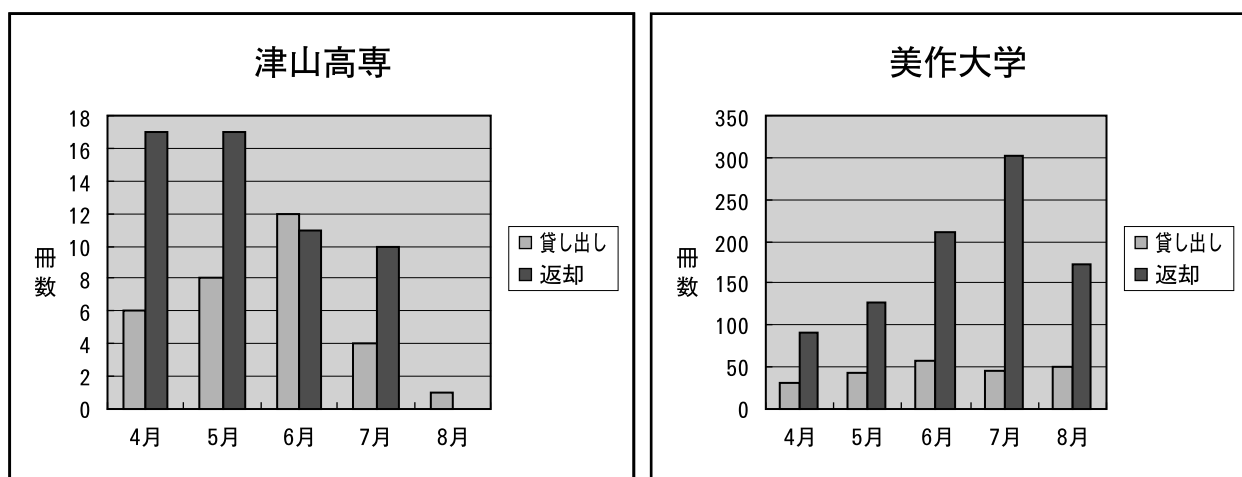
An I can Read Book Series — Harper Collins

レベルは4つに分かれており、中身はCLASSIC TALESシリーズと同じく薄い絵本。自分の読んだ本は“Aunt Eater Loves a Mystery” (アリクイanteaterと主人公のイーターおばさんAunt Eaterの洒落) という絵本だったのですが、「ガマくんとカエルくん」を彷彿とさせる絵柄がとてもイイです。これもなぜか長い文章のペンギンシリーズよりも知らない単語が多く (自分の語彙が偏ってるだけ?)、でも読み進めていくと分かってくる、スッキリ感が楽しめる本です。個人的に一番推したいシリーズ。勉強嫌いな人にオススメ。

津山高専と津山市立図書館の連携

『津山高専で市立図書館の本が借りられるってご存知ですか？』

平成20年の4月より、本校の図書館と津山市立図書館で協定を結び連携しています。これによりメリットがいくつか増え、自由度が高まっています。例えば「専門図書に強い津山高専の図書館、一般図書に強い津山市立図書館がお互いに本を貸し借りし、足りない面を補う」ことや、「上記の津山高専の図書館で市立図書館の本を借りたり返したりできる」というものです。このように素晴らしいシステムなのですが、利用者が少ないことも事実です。



美作大学も同様に市立図書館協定を結び連携しているので、2校の対津山市立図書館利用状況をグラフにしてみました。タイトルの通り、左が津山高専、右が美作大学の利用状です。冊数の値を見ると差は歴然です。更に津山高専でこのシステムを利用している方ほとんどが先生方という状況です。せっかくあるシステムを利用しない手はありません。上で述べた他にも

☆午前中に頼めば当日受け取り可能!!

☆本を直接手にとって選びたい方は市立図書館で借りて、返却は津山高専というのも可能です!!

☆借りたい本が決まっていれば「ネットで予約して、～日に津山高専で受け取り」も出来ます!／

貸出券の発行・連携利用の為の登録が必要ですが、河童のマークの貸出券は既に受領している方も多いため、無い方も簡単に登録できます!／

◎津山市立図書館の自動貸出機



今年の春から実用化されている自動貸し出し機です。机にある四角の枠内に本を置き、右下の機械に貸出券を読み取らせるだけ!／一度に最大10冊まで処理できるそうです。

津山市立図書館の蔵書数ですが、本館・加茂町・勝北・久米4館を合わせると40万冊にもなるそうです。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

あなたの読みたい1冊が見つかるかもしれません。

紙材料の今昔

現在、広く使われている「紙」。今回は、「紙」が普及する前に使われていた物を少しリストアップしてみました。調べてみると、その地域独特のものから、広い地域で使われていた物まで、たくさんの種類を知ることができました。

パピルス紙

「パピルス」という植物の茎を薄くはいて張り合わせる。主にエジプト等で使用された。生産地が限定され、生産には手間がかかった。一般的な大きさとしては、B5よりもやや小さいくらいのシートを作り、それを貼り合わせて巻物にしていた。

値 段	(生産国内等) (現在の日本円に換算すると、) 1枚 約3700円 (紀元前1世紀) (生産国外) 国内価格 + α
手 間	かかる。薄くはいだパピルス貼り合わせ、乾いてから磨く。
耐久性	低い。特に湿気がある場合、寿命が大幅に縮む。
その他	書き写された文字が少し見にくい。大量生産ができなかったので、多くの国では供給が安定しなかった。

羊 皮 紙

羊などの皮を使ったもの。エジプト等から輸入された高価なパピルス紙の代わり。パピルス紙と同様で、生産に手間がかかった。現在でも、大学の卒業証書などで見ることができる。

値 段	(1300年頃の例) 羊皮紙1枚を買う代金で、紙を約40枚買うことが出来た。
手 間	かかる。動物から皮をはいて磨く。
耐久性	高い。

木 簡・竹 簡

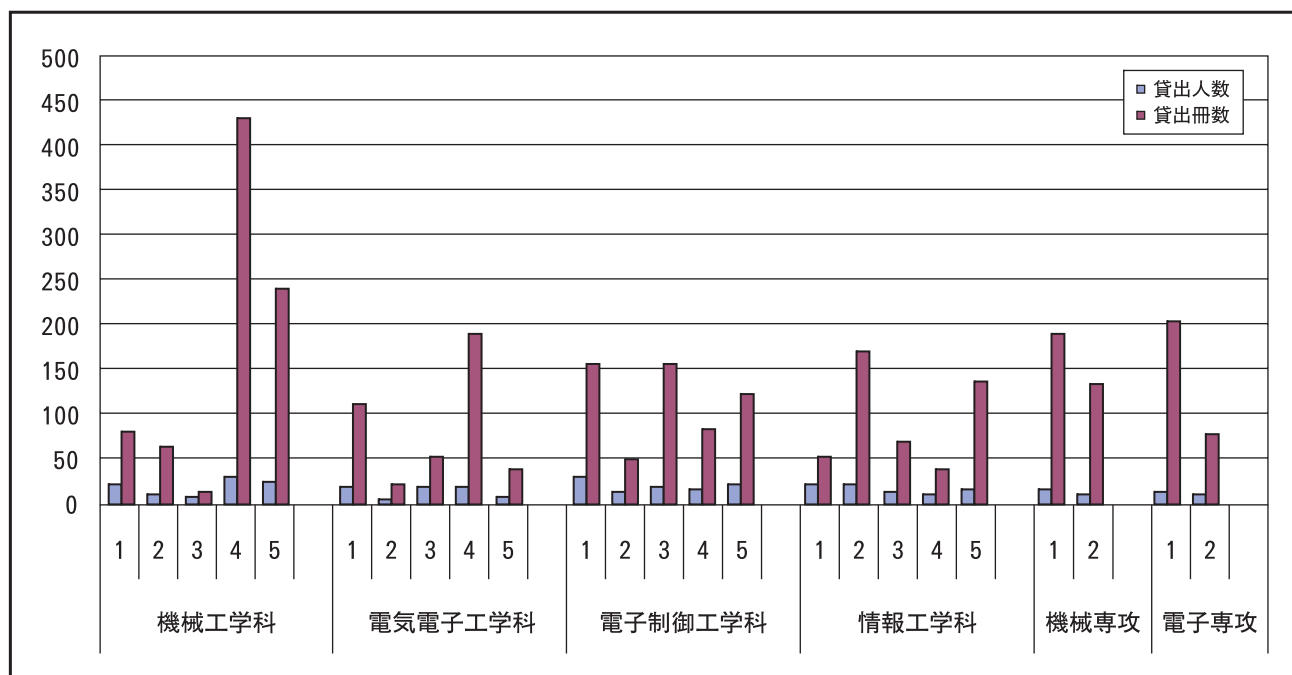
木、竹を使ったもの。中国、日本あたりはこれを使った。どちらかというと、中国は竹簡、日本は木簡が多い。

値 段	安い。
手 間	あまりかからない。薄く切った木、竹をひもで縛るだけ。
耐久性	高い。
その他	とにかくかさばる。本と比較すると、約500倍の体積。

「紙」が無い時代、これら「筆記媒体」たちは、ひとつひとつ手作業で作られていました。そのため、生産するスピードも遅く、これらを大量に使う「本」も、とても高価でした。よって、メモ書きなどの用途には、陶器の破片や、黒板を小さくしたような書字板が使われることもあったようです。

貸出実績集計

2010年4月～12月



津山高専図書館 貸出ランキング

2010年4月～12月

順位	貸出回数	タイトル	著者
1	14	大学1・2年生のためのすぐわかる物理	前田和貞
2	11	大学1・2年生のためのすぐわかる演習物理	前田和貞
2	11	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメントを読んだら」	岩崎夏海
3	10	1Q84(ichi-kew-hachi-yon) : a novel book3	村上春樹
4	9	内燃機関工学	
4	9	形状記憶合金の機械的性質	
5	8	大学編入試験問題数学/徹底演習：微分積分・線形代数・応用数学・確率	林義実, 山田敏清
5	8	萌えキャラの上手な描き方	神吉, くろば, 白玉団子
6	7	新TOEICテストが簡単になる本 リーディング編	キム・ジョン
6	7	化物語 上	西尾維新
6	7	これからスタート! 光エレクトロニクス	伊藤国雄, 植月唯夫, 中村重之

編集後記

今年は例年通りの先生お勧めの参考書や、学生の詩・短歌に加え、図書委員がそれぞれあるテーマについて記事を書きました。そのため内容も豊富で、楽しめる図書館報になっていると思います。

忙しい中原稿を書いてくださった先生・職員の方々、本当にありがとうございました。また、一緒に図書館報を作ってくれた図書委員の皆さん、図書館報の製作に関わってくれた皆さんに、御礼を申し上げます。